

さつきだより



- 株式会社アミックビジネスコンサルティング
- 税理士法人アミック&パートナーズ
- 社会保険労務士法人アミック人事サポート
- 株式会社アミック総研
- アミック行政書士事務所

〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町928-1 TEL:028-908-4411 FAX:028-645-1000

『未来年表』

日経新聞の広告欄に「未来年表」という本の広告が載っていました。わが国の将来や私達の仕事は将来どうなるかと興味を持ったので早速書店にて購入しました。特に印象に残ったのは以下の言葉です。

人口減少対策とは「夏休みの宿題」のようなものである。いつかはやらなければならないと頭で分かっている、ついつい後回しにしがちだ。その変化は日々の暮らしの中では目に見えないほど軽微なためである。「まずは目の前の課題をこなすことが先だ」と言い訳しながら、時だけが過ぎていく。

人口の未来は予測ではありません。「過去」の出生状況の投影であり20年後の20歳、30年後の30歳の人口はほぼ確実です。人口減少のみならず、少子高齢化を伴うため、取り掛かろうと思ったときには社会が老いてしまい手遅れになってしまうことが懸念されます。ここ数年が運命の分かれ道です。今取り組まなければ永久にチャンスを失ってしまいます。最近国会でも少子化対策が取り上げられ、ようやく政治家も動き始めました。日本社会がタイムオーバーとならぬよう、一刻も早い効果的対策の実施を期待しています。

我々経営者は、それぞれの業界の将来予測を十分に調べた上で、今後の事業計画を作成し、人口減少に打ち勝つ対策を講じる必要があります。具体的には「薄利多売」から「厚利少売」への転換、つまり付加価値を高めなければなりません。更に無形固定資産への投資によるブランド力の向上です。無形固定資産とはソフト部分です。「人材育成」「技術力」「ノウハウ」「研究開発力」など目に見えない資産です。社員一人一人のスキルアップを求める投資により一人当たりの生産性の向上が図れます。経営計画を活用し、自社の将来像を明示することにより、社員のモチベーション向上にも繋がります。人口減少という大きな変化への対策を、速やかに行わねば生き残っていけない現実が待っています。

税理士法人 アミック&パートナーズ 代表社員 谷中田 悟

「私のおすすめ」

「献血」

私のおすすめは、献血です。

コロナ禍になった際に首都圏を中心にご職場や学校等での集団献血の中止件数も増加傾向にあることから、献血について安定的な献血協力が得られない状況が続いているというニュースをみて、自分でも何かできることがないかということから始めてみました。

はじめは、職場での集団献血しか行ったことがなかったので、どのようにすれば献血ができるのかわからない部分がありましたが、献血Web会員サービス「ラブラッド」というものがあり、そこに会員登録をしますと、いつでも献血の予約ができますし、献血会場に行った際も会場の衛生環境は整っていて、人が密にならないような対策もなされていて、快適に献血を行うことができます。

なかなか、献血ということで、注射されるということもあり苦手にしてしまうこともあります。献血をしたことによる達成感もありますので、もしよければ試しにやってみませんか。(文：安形)

当社サイトでは税制改正や各種セミナー情報、職員ブログ等の様々なコンテンツを取りそろえております。

<https://www.amic-amg.co.jp>もしくは、右QRコードより是非ご覧ください！！



4
月号